

# 黄金町バザール 2021 参加アーティスト第1弾発表

## 公募で6組のアーティストを選出しました

横浜・黄金町エリアのアートフェスティバル「黄金町バザール 2021」を10月1日（金）から、10月31日（日）まで開催いたします。第14回を迎える本展は、「サイドバイサイドの作り方」をテーマに、公募にて選出された国内外のアーティスト、海外連携機関の推薦によって選出されたアーティスト、そして、黄金町の長期滞在アーティストが参加します。

この度作品プランの公募により6組の参加アーティストを決定いたしました。7月より順次制作を始め、可能なアーティストについては黄金町で滞在制作を行います。

制作の状況や、その他アーティストについては、7月中発表予定のプレスリリース vol.3 や、当 NPO のウェブサイト、SNS で発信いたします。情報の周知、拡散にご協力いただけますと幸いです。



Photo by Ryudai Abe

## 1 展覧会概要

### 黄金町バザール 2021 サイドバイサイドの作り方

会期	2021年10月1日（金）～10月31日（日）【計27日間】月曜休場
会場	京急線「日ノ出町駅」・「黄金町駅」間の高架下スタジオ、 周辺のスタジオ、地域商店、野外空地、他
主催	特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター、 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会
共催	横浜市

## 2 ディレクター・メッセージ

SIDE BY SIDE という言葉は、ただ並んでいるだけ、というような無機質なレベルの意味合いと、共同する、とか一緒にやるとか、能動的な意味につながる場合と、両面で使われているようです。

今回はまず無機質なレベルから始めてみます。黄金町は地域の歴史的事情もあって無数の扉と窓が並んでいます。その扉や窓は開くところもあれば、閉じたままのところもありますが、今回は、窓、扉、その中、外を問わず、この地域の景観に即した、通りを歩くとなんとなく変化が連続的に感じられるような、展示を試みます。アジアのアーティスト、日本各地のアーティスト、そして黄金町のアーティストにより、多数の作品が街中に展開します。

ディレクター 山野真悟

<プレスリリース / ご取材に関するお問合せ>

特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター（広報担当 神田、小田原）

Tel | 045-261-5467 Mail | pr@koganecho.net

黄金町エリアマネジメントセンター  
KOGANECHO AREA MANAGEMENT CENTER

### 3 参加アーティスト

志村 茉那美

Manami Shimura



1995年宮城県生まれ、東京都拠点。2021年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修士課程修了。各地に伝わる民話や史実についてのリサーチをもとにCGを用いた映像作品を制作。娯楽性やユーモアが内包する持続可能性に着目し、疲労を伴わないかたちであらゆる社会問題の背景にある構造の対象化を試みている。

#### 主な展覧会歴

2020年

「表層と深層 | Surface and Depths」 Gallery PARC、京都

2019年

「GEIDAI BIBLIOSCAPE 2019」東京藝術大学附属図書館、東京

2017年

「第16回京都現代写真作家展（京都写真ビエンナーレ 2017）」  
京都文化博物館、京都



《見えない川を辿る》2020年

照沼 敦朗

Atsuro Terunuma



1983年千葉県生まれ、埼玉県拠点。2007年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。同年、映像プロダクション会社に就職、2008年に離職し制作に専念する。作家自身が生まれつき弱視であることから、視覚そのものや、見える／見えないこと、それに伴った社会風刺、人間の内面、思想、夢などを、絵画や立体、アニメーションやインスタレーション作品として発表している。



「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.08」展示風景、2019年

#### 主な展覧会歴

2019年

「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.08 / 社会を解剖する」高松市美術館、香川

2018年

「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2018」六甲高山植物園、兵庫

2018年

「Remembering, or Forgetting」ARARIO GALLERY、韓国

<プレスリリース / ご取材に関するお問合せ>

特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター（広報担当 神田、小田原）

Tel | 045-261-5467 Mail | pr@koganecho.net

黄金町エリアマネジメントセンター  
KOGANECHO AREA MANAGEMENT CENTER

## トモトシ

tomotosi



1983年山口県生まれ、東京都拠点。2006年に豊橋技術科学大学建設工学課程を卒業後10年にわたって建築設計・都市計画に携わる。2014年より映像インスタレーション作品を発表。「人の動きを意識的に変化させる」ことをテーマに、都市空間を舞台として制作している。2020年より東京都・西荻窪にトモ都市美術館（現 TOMO 都市美術館）の企画・運営を行う。

## 主な展覧会歴

2021年

「ミッシング・サン（芸術競技2021）」代々木TOH、東京

2019年

「有酸素ナンパ」埼玉県立近代美術館、埼玉

2019年

「あいちトリエンナーレ2019」豊田市駅下会場、愛知



「ミッシング・サン（芸術競技2021）」展示風景、2021年  
Photo：コムラマイ

## 増山 士郎

Shiro Masuyama



1971年東京都生まれ、神奈川県川崎市出身。世界中のアーティスト・イン・レジデンスを渡り歩いた後、2010年より紛争地帯として知られる北アイルランドのベルファストで唯一の在住日本人アーティストとして活動している。建築出身のバックグラウンドを利用し、人々や社会と関わるプロジェクト、いわゆるソーシャリー・エンゲイジド・アートを実践している。

## 主な展覧会歴

2020年

「札幌国際芸術祭2020 Of Roots and Clouds：ここで生きようとする」北海道  
(新型コロナウイルス感染拡大のため開催中止)

2019年

個展「共生」アイルランド国立フォークシアター、アイルランド

2019年

「沈黙の騒音：日本のアートの現在」Golden Thread Gallery、北アイルランド、英国



《新スタイル酒処「ひとりぼっち」》2004年  
Photo：大泉憲彦

<プレスリリース / ご取材に関するお問合せ>

特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター（広報担当 神田、小田原）

Tel | 045-261-5467 Mail | pr@koganecho.net

黄金町エリアマネジメントセンター  
KOGANECHO AREA MANAGEMENT CENTER

**山本 千愛****Chiaki Yamamoto**

1995年群馬県生まれ。2018年群馬大学教育学部美術専攻卒業。2016年より「12フィートの木材を持ってあるく」というプロジェクトを開始。関わる人々の個人的な事柄や社会情勢に巻き込まれたり、通りがかりの人の協力を得たり、作者本人の想定し得ないエラーに直面したことを基に、生きること・移動すること自体が作品化されていく。現在は群馬県から歩いて山口県にたどり着き、山口県在住。

**主な展覧会歴**

2021年

「群馬青年ビエンナーレ 2021」群馬県立近代美術館、群馬

2021年

「Street Museum 2021」東京ミッドタウン、東京

2020年

「TOKYO MIDTOWN AWARD2020」東京ミッドタウン、東京



《西へ 行くこと/戻ること》2021年  
Photo：水津拓海

**ラギル・ドウィ・プトラ****Ragil Dwi Putra**

1992年インドネシア・サラティガ生まれ、現在はブカシとジャカルタを拠点として活動。2016年ジャカルタ芸術大学卒業。政治的・社会的な問題に関心を向けるために、空間、アイデンティティ、歴史の抽象的な概念と想像力を融合させる。私たちが今を生きるための方法として、過去を振り返り未来を想像することを試みている。コラボレーションと参加に重点を置いて、パフォーマンス、インスタレーション、映像を制作している。

**主な展覧会歴**

2020年

「To Watch and To Be Watched」Road to Jakarta Biennale、インドネシア

2019年

「Facing The Others」Rubanah Underground Hub、インドネシア

2019年

「The Other Side of The Living Room」Residency Program at Cemeti Art Institute、インドネシア



《Messages from The Bottom》2021年  
Photo: Aryo Fazrien

<プレスリリース / ご取材に関するお問合せ>

特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター（広報担当 神田、小田原）

Tel | 045-261-5467 Mail | pr@koganecho.net

黄金町エリアマネジメントセンター  
KOGANECHO AREA MANAGEMENT CENTER